

建具Q & A

Q 1 課題 3 仕様 ⑥鏡板部分を除きパテ欠きとする。

とあるが、図面ではV字の内部はパテ欠きされていないように見えるが、パテ欠きするのか。

A 1 上部斜め束（V字部分）内部は、羽目板裏同様パテ欠き作業はありません。

Q 2 課題本文 3 仕様⑧接合箇所は全て島を残した腰型とし、手加工とする。

と変更になったが、A部分は（流れ）留形三枚接ぎではないのか。また、両縦框と下棧の接合は2枚ほぞとなっているが、島を残すのか。

また、ほぞ側の4mmの欠き取りは昇降盤で行うことはできるのか。その際、4mmの刃物は用意されているのか。

A 2 A部分の流れ留め3枚継ぎと両縦框と下残（2枚ホゾ）には、島加工作業はありません。

ほぞ側の4mm欠き取りは、島用刃物無しほぞ挽き同様、丸のこを使用します。取り過ぎには注意してください。

Q 3 課題図面で、V字の寸法はR棧との交点で表されているが、部材幅が違うため正確な中心を取ることはできないのではないのか。

A 3 交点が中心になります。

Q 4 B、Cのほぞについて、Bは刈り上げされて、Cはされてないが図面通りで良いのか。

A 4 図面どおりの作業です。

Q 5 E姿図に島分の破線が入るのではないのか。

A 5 Eの接合は島にはならず、あくまで蛇口加工となります。

Q 6 持参工具一覧の「こしかた・無精型」のところに「ジグは不可」とありますが、具体的にどのようなジグが不可なのでしょう。小口削り台を使用しようと思うのですが、これもジグに入るのでしょうか。

A 6 テンプレートとして形のできあがっているものは持ち込み不可です。会場にて作成するのはかまいません。持ち込み不可品に該当しないかどうか、工具展開時に確認があります。

Q 7 注意事項③に「（略）本組前には審査を受ける。」とありますが、昨年のように提出する形を取るのでしょうか。また、そのタイミングを教えてください。

A 7 本組前の審査については、仕口が仕上がった時点（ホゾ・ホゾ穴＝組める状態になった時）で審査を受けます。審査は、競技委員がその場で行います。競技前日の下見時に詳しい説明を行います。